

2023.8 Vol.102

おうしゅう

福祉だより

OSHU FUKUSHI DAYORI



ホームページ
QRコード



テクノボランティア



水沢工業高校電気科の生徒が、照明器具等の電気設備の点検や清掃を行うテクノボランティア。今年度も集会所や児童クラブを訪問してくれています。

児童クラブの子ども達からは、お礼の寄せ書きもありました。住民の方々からも、とてもきれいになり、快適に過ごすことができていると、大変好評です♪

P2～3 令和4年度事業報告・決算報告
役員の選任

P4～5 インフォメーション

P5 フードバンクにご協力ください

P6 社協のおしごと





令和 4 年度

事業報告・決算報告



事業報告

新型コロナウイルス感染症の拡大が市民生活に大きな影響を与え、住民同士のつながりの希薄化、社会的孤立や生活困窮、介護・子育てに対する不安など、私たちを取り巻く福祉課題の複雑、多様化が進む中、本会の果たすべき役割の重要性を認識し、知恵を出し合いながら最大限の効果を生み出せるような事業を展開しました。

① 誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり

- ・地域セーフティネット会議の設置状況を評価、課題の整理
- ・公的サービスと地域のたすけあい活動との連携を図るため、行政との協働により情報交換会を実施

② 地域の福祉を支える仕組みづくり

- ・地域における協働のプラットフォーム（地域の福祉課題について自発的に対等な立場で参加し共有・協議する場）づくりに向けたあり方を整理
- ・子育て世代と地域住民が接点を持つきっかけをつくり、子どもを一時的に預かることができるような仕組みづくりに向け活動

⑤ 法人運営と職員管理・育成の強化

- ・ハラスストップボックス（ハラスメントに係る目安箱）を設置

⑥ 効果的な事業運営と財政基盤の確立

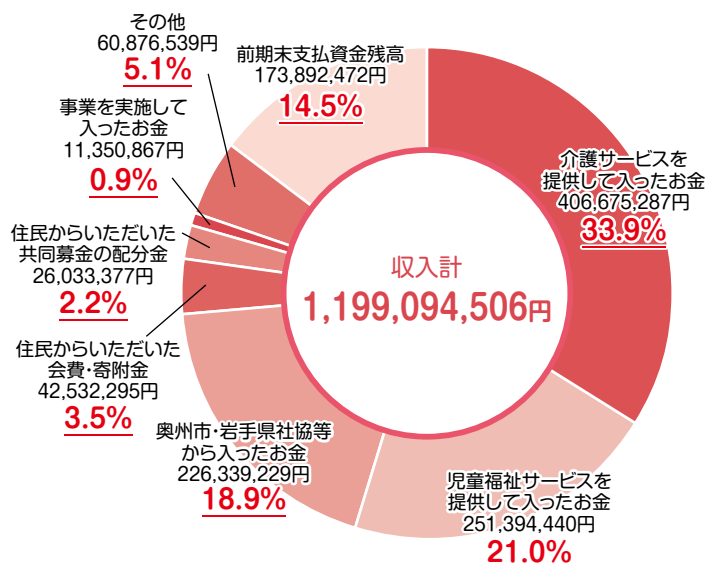
- ・会費一元化に向けた検討
- ・事業評価委員会の答申を受けて各種事業を見直し

決算報告

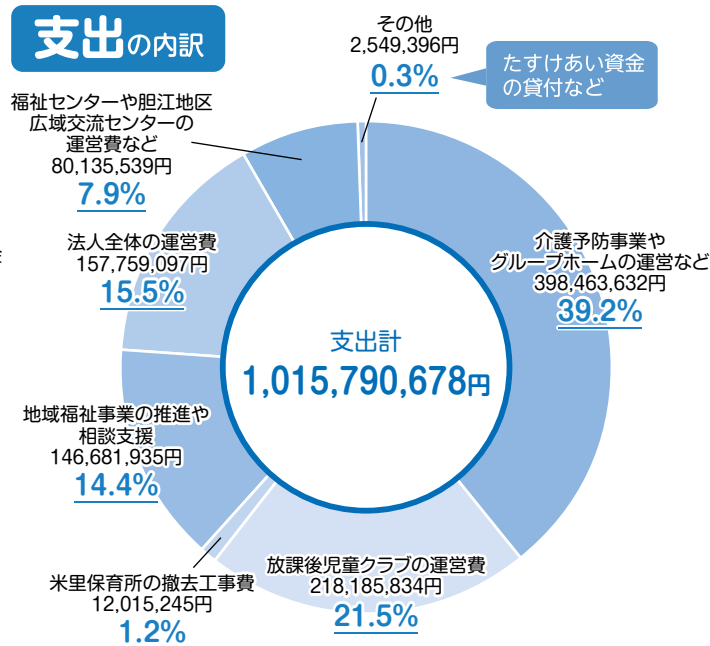
市民の皆さまからいただいた会費やささえあい協賛金等により、令和4年度も本会事業を実施することができました。

収入は会費収入をはじめ、補助金や受託金等で総額約11億9,909万円となり、支出は法人運営事業や介護保険事業、放課後児童クラブ等の運営で総額約10億1,579万円となりました。収入と支出の差額約1億8,330万円は令和5年度に繰越し、今後も福祉活動等に大切にに使わせていただきます。

収入の内訳



支出の内訳



※次年度繰越額（収入－支出） 183,303,828円

令和4年度の事業報告と決算の詳細は市社協ホームページからご覧いただけます。 <http://www.oshu-shakyo.jp/>



③ 市民の暮らしや活動を支える体制づくり

- ・地域セーフティネット会議の活動事例や記録の整理を行い、活動事例集を作成
- ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練や福祉避難所開設訓練、研修を実施
- ・重層的支援体制整備に向けた相談窓口の対応のあり方を奥州市と検討

④ 信頼ある組織・機構づくりと事業推進体制の見直し

- ・地域福祉推進協議会の意向確認を実施
- ・電子決裁の正式運用と利便性向上のためのアンケートの実施
- ・理事定数や選任区分について見直し

⑦ ニーズに基づいた事業展開と評価及び支援体制の確立

- ・福祉懇談会でアンケート調査を実施
- ・課同士の連携による福祉課題解決の仕組みづくりの取り組み
- ・子ども・子育て世代と地域とのつながりを構築するモデル事業として、江刺藤里地区でファミカフェを実施

⑧ 新規事業の取組み

- ・社会福祉法人のネットワーク構築への取組み
- ・ホームページの刷新
- ・身近な地域での心配ごと相談所を開設
- ・奥州金ケ崎地域権利擁護あんしんセンターの運営
- ・こども食堂の立ち上げや運営の支援
- ・胆沢デイサービスセンターをじゅあんの園デイサービスセンター施設に統合



役員が選任されました



任期満了に伴う役員の改選により、本会定款及び役員改選規程に基づき、次の方々が選任されました。役員の任期は、令和5年6月23日から令和6年度に関する定時評議員会の終結の時までとなります。

職 名	氏 名	所属団体・区分
会 長	田面木 茂 樹	学識経験者
副 会 長	千 田 敏 彦	前沢地域福祉推進協議会
副 会 長	高 橋 善 昭	江刺地域福祉推進協議会
常務理事	千 田 博 文	学識経験者
理 事	渡 邊 美喜子	胆沢地域福祉推進協議会
理 事	菅 野 好 平	奥州市ボランティア連絡協議会
理 事	芳 沢 莖 子	県南ブロック社会福祉法人経営者協議会
理 事	高 橋 清 治	奥州市福祉部
理 事	横 山 剛	衣川地域福祉推進協議会

職 名	氏 名	所属団体・区分
理 事	及 川 幸 博	奥州市民生児童委員連合協議会
理 事	菅 原 睦 夫	水沢地域福祉推進協議会
理 事	香 川 博	住民自治組織を代表する者
理 事	安 倍 副	奥州市行政区長連絡協議会
理 事	及 川 公 子	学識経験者
監 事	及 川 守	財務諸表について識見を有する者
監 事	佐々木 正 悦	社会福祉事業について知識経験を有する者
監 事	鈴 木 庸 伸	社会福祉事業について知識経験を有する者

おしらせ

第18回奥州市社会福祉大会

だれもが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」をめざして。

- ▼日 時 令和5年10月12日(木)
午後0時40分～午後4時(開場 午後0時10分)
- ▼会 場 奥州市文化会館大ホール(参加無料)
- ▼日 程 午後0時40分 オープニングアトラクション
午後1時05分 式典
*挨拶 *表彰 *祝辞
午後2時20分 記念講演



*テーマ 「ダウン症の娘と共に生きて」

*講師 書家 金澤泰子氏

ー講師プロフィールー

書家。ダウン症の天才書家・金澤翔子の母。明治大学卒。書家の柳田泰雲・泰山に師事。ダウン症の書家・金澤翔子を産み育て、世界的な書家にまで導いた母として、書の師匠として注目を集める。全国各地の行政、企業、各種団体などからの講師依頼は、延べ1000回を数える。



- ▼問 合 せ 市社協総務財政課 ☎25-6158

奥州金ヶ崎地域市民後見人養成講座

認知症や知的・精神障がい等で判断能力が十分でない方の権利や財産を守るために支援する「市民後見人」の養成講座を開催します。

※市民後見人とは…親族以外の市民による後見人

- ▼開 催 日 令和5年9月7日(木)～10月5日(木) 全5回(各木曜日)
- ▼会 場 奥州市総合福祉センター
- ▼受 講 料 8,000円
- ▼定 員 30名 ※定員を超えた場合は抽選
- ▼対 象 ・奥州金ヶ崎地域に在住または在学・在職の方で、令和5年度で満20歳以上の方
・全5回すべての科目を受講できる見込みのある方
- ▼申込締切 令和5年8月31日(木)
- ▼問 合 せ 市社協生活応援課 ☎25-7171

※市民後見人候補者としての登録には、別途要件があります。詳しくはお問い合わせください。

福祉なんでも相談所

誰に相談したらいいかわからない、話を聞いてほしいなど、困っていることはありませんか？

相談所では、社会福祉士などの資格をもつ福祉活動専門員(CSW=コミュニティソーシャルワーカー)が、どのようなことにお困りか事情を伺い、助言や問題解決のできる相談機関等を紹介します。

相談料は無料です。まずはお気軽にご相談ください。

- ▼開 設 日

8月25日(金) 小山地区センター	8月29日(火) 岩谷堂地区センター
9月1日(金) 衣里地区センター	9月5日(火) 黒石地区センター
9月8日(金) 稲瀬地区センター	9月12日(火) 前沢地区センター
9月15日(金) 胆沢愛宕地区センター	9月19日(火) 広瀬地区センター
9月22日(金) 羽田地区センター	9月26日(火) 北股地区センター
9月29日(金) 梁川地区センター	※10月以降の開設日は、お問い合わせください。
- ▼開設時間 午前10時～11時30分
- ▼利用方法 電話予約または、会場へ直接お越しください。※予約者優先
- ▼問 合 せ 市社協地域福祉課・福祉のまちづくり支援室 ☎25-6188

地域で暮らし続けるための「おかげさま」を学ぶ講座

市民の皆さんが地域福祉について学ぶ場を設け、身近な実践事例に触れながら福祉活動の担い手となる「福祉を支える基盤づくり」をすすめることを目的に開催します。

- ▼内 容
- 《第2回講座》
 令和5年9月11日(月) 午後1時30分～3時55分
 研修Ⅰ テーマ：ともに生きる
 講 師：金性寺住職・正法寺単頭老師 松森弘隆 氏
 研修Ⅱ テーマ：災害時要配慮者に対する支援と住民活動
 講 師：岩手県立大学社会福祉学部准教授
 日本DMAT隊員・元赤十字救護班員 伊藤隆博 氏
- 《第3回講座》
 令和5年11月2日(木) 午後1時30分～3時55分
 研修Ⅰ テーマ：いなか坊主のおはなし
 講 師：妙見山黒石寺住職 藤波大吾 氏
 研修Ⅱ テーマ：知っててよかった！地域福祉活動の基本
 講 師：東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科長・教授 田中尚 氏
- ※第1回講座は終了いたしました。
- ▼会 場 奥州市総合福祉センター
- ▼参 加 費 無料
- ▼定 員 会場参加：100名 Web参加：50名 ※先着順
- ▼申込方法 開催日の10日前を目安に、下記までお申し込みください。
 Webで参加の方は、申込みをいただいた後、追ってZOOMミーティングIDとパスワード等をメールにてお送りします。
- ▼そ の 他 過去の動画も掲載していますので、ぜひご参照ください。
 URL：https://www.youtube.com/channel/UC4Gpt6GixS9Nw_AaUkFkM1Q
- ▼問 合 せ 市社協地域福祉課・福祉のまちづくり支援室
 ☎25-6188 ✉chiiki@oshu-shakyo.jp



フードバンクにご協力ください

なんらかの理由で生活が困窮した状態になり、当面の食料がない世帯に対し、企業や市民から募った食品を提供し、自立に向けた意欲の向上を図ることを目的に食料品を集めています。



受付する食料品

- ・保存食品
- ・インスタント食品
- ・ギフトセット
- ・災害用品
- ・飲料水
- ・お菓子
- ・ベビー用品

受付しない食料品

- ・賞味期限が明記されていないもの
- ・賞味期限が3か月未満のもの
- ・常温で保存できないもの
- ・開封済み又は中身が破損しているもの

* 寄付をする食品が該当するか判断に迷う場合や、大量の提供希望の場合は事前に連絡をお願いします。

▼問 合 せ 市社協暮らし・安心応援室 ☎47-4546



社協の おしごと

奥州市社会福祉協議会では、5課32事業所の約300人の職員が働いています。このコーナーでは、市民の皆さんに社協職員の仕事の内容を知っていただけるよう事業所を紹介していきます。



職場 13 こども福祉課
黒石放課後児童クラブ

Q 黒石児童クラブの職員は何名ですか？



所長：阿部朝子

所長、主任、放課後児童支援員、
補助員合わせて5名です。



Q どのような仕事をしているのですか？

小学生の子どもたちが、放課後を安心して楽しく過ごすことができるように、環境を整えて、心身ともに健やかな成長ができるように支援しています。

Q 仕事をしていてうれしかったことを教えてください。

学校から帰ってきた子どもたちに、今日あったことを教えてもらうことがうれしいです。また、学校ではできないことにチャレンジして、達成したときの喜びの顔を見ることがです。



Q 黒石放課後児童クラブの特徴を教えてください。

黒石放課後児童クラブの前身である黒石児童館は、岩手県内で最初に開設されたという歴史があります。以来、自然に囲まれた当児童クラブは、小鳥のさえずりを聴きながら石段を登ってくる子ども達を迎えてきました。

黒石小学校は来年度姉妹小学校と統合するため、黒石小児童として通うのは今年度で最後となります。1年生から6年生まで在校生の80%以上が毎年入所し、放課後の児童のコミュニケーションの

場として、家庭ではできない体験の場としての役割を担ってきました。

先日行われた『夏まつり』では、以前の利用児童数の半分程になったものの、従来通りの内容でアトラクションの披露、夜店、抽選会を行いました。保護者の皆様の多大な協力あつての開催に加え、卒業生や未就学児童、近隣の方々を招き、賑やかで楽しい思い出のひとつを過ごしました。

小さな放課後児童クラブですが、大きな笑い声の絶えない、大切な子どもの居場所です。



奥州市社会福祉協議会 連絡先

総務財政課 25-6158	地域福祉課 25-6188	水沢支所 25-6025	江刺支所 35-8081	前沢支所 56-2148
胆沢支所 46-3111	衣川支所 52-3144	生活応援課 25-7171	こども福祉課 25-6158	介護事業課 51-1181